

1. 平成 2 1 年 度 目 指 し た こ と

わたしたちがすんでいる地域のすべての子どもたちを育む環境創りをめざす

2 1 年 度 の テ ー マ

「出会いは笑顔（えーかお）であいさつ、笑顔で広げる活動」

- (1) 舞台鑑賞会に誘い合って参加し、子どもたちに生の舞台を、そしてみんなで楽しみましょう。

メディアで溢れる現代の中で、今の時代だからこそ、子ども達が文化に触れることは大事、素敵な心に残る生の舞台との出会いをつくっていききたいという思いで、劇団風の子九州の「どんぶらこっこどんどこ亭」に取り組みました。アジアのさまざまな遊びや民話、音楽を、多彩な表現を使って演じられる舞台は子どもだけでなく大人も楽しむことができました。「子どもの遊び文化」は、国境と言葉の違いを超えて、共通性を持っていること、遊びは「世界の共通語」のメッセージが伝わってきました。また、公演の後は、中国の風車「フィフィ」もつくるワークショップをして、劇団の方との交流もできました。

今年度は、1 作品の企画しかできませんでしたが、これからも、子どもたちに生の舞台を届け、「感動の時間」を共有していきたいと思えます。

- (2) さまざまな体験活動を通して、子ども達に自ら考える力、判断する力、行動する力、そして、子どもも大人も互いに協力しあっていきましょう。

今年度、二つの新規事業に取り組みました。一つは、「竹風あがれ！～竹と友だちになろう～」です。萩の地域資源の竹を使って、一から凧づくりをしようとうものです。山口福祉文化大学のご協賛をいただき、石川先生にご指導していただきながら、竹きりから紙すき、凧づくりと、全ての工程を手作業で行いました。のこぎりや鉋で竹を切ったり、割ったり、竹の繊維を細かくするためにひたすら叩いたり、危険なことや根気のいる、手間ひまのかかる工程ばかりでしたが、その分、紙ができたときは思わずみんなで歓声をあげて感動しました。本当にみんないい顔をしていました。身近にある自然を生かした有意義な体験活動ができたので、次年度も継続していきたいと思えます。

もう一つは、「講演会」です。今度萩市にできる児童館・プレーパークは市民が積極的に関わり、ボランティアなどさまざまな形のサポートが必要です。そのために、より市民のみなさんの理解を深めていくことを目的に天野秀昭さんを講師にお迎えして取り組みました。「大人が子どもにどう向き合おうとしているのか」、「遊育」、「あそぶ＝本人の主役の世界、遊びは子どもにとって何が何でも必要」と話されたプレーパーク第 1 人者の天野さんのお話を聞いて、みなさんプレーパークに興味と関心を持たれ、次世代を担う子どもたちの新たな居場所として大きな期待をしている感想を多くの方からいただきました。

継続事業では、ストリートダンスは 1 5 周年の節目の年でした。夏まつりのときは、OB・OGの参加やおやじダンスの復活、さらにリルレイダンススタジオの子どもたちも加わって大いに盛り上がりました。ダンスで弾けんばかりに自己を表現している子どもたち、ずっとつながっている大きな仲間の輪、1 5 年の積み重ねの重さを実感しました。

こどもまつりは、「竹あそび」をメインのコーナーにしてさまざまな遊びのコーナーを企画しました。竹のマイはしづくり、竹紙すき、竹炭かざり、竹かつぼ、竹とんぼづくりをしました。萩東中学校の人形劇や明倫小学校の音楽クラブ、こもれびの方々の新たな参加協力でまつりがさらに充実しました。こどもまつりが子どもたちにとって学校以外の発表の場としてとらえていただいています。また、ボランティアの高校生もダンボールを使ってキリンを作って小さな子どもたちと遊び、触れ合いました。今は、親の世代が紙やすりの使うの初めてとか竹かつぼの乗り方を子どもに教えてあげられないなど遊びの経験が少ないことに気づかされます。これからも、いろんな方々と協力の輪を広げて「あそび」の空間を提供していきます。

ピヨピヨの会は、「子どもと集う時間は楽しく！」をモットーに、外遊びや講師をお招きしてお母さんの勉強会を取り入れて行いました。おもちゃを取り合っ泣いたり、人見知りや遠くから様子を見たり、お母さんは別室でお勉強の間淋しくて泣いたり、1 年間いろんな経験をしながら小さな子どもたちは成長しています。高学年活動は 8 月に川上でサマーキャンプを行いました。それから、子ども劇場山口

県センターが主催する県中高生交流会に6人の子どもたちが参加し県内の子どもたちと交流を深めました。高校3年生の吉村美菜さんは実行委員になってリーダーとしての大役を果たしました。

会員交流会を、明木の下切（したきり）・見定（けんじょう）集落で稲刈り交流会をしました。きっかけは、中山間地域の集落の方から農業体験をしませんかのお誘いでした。当初は、会員対象と考えていましたが、一般にも呼びかけて会員、会員外14名の参加がありました。当日は雨で実際の稲刈りはできませんでしたが、集落の方と一緒に食事の準備をしたり、トラクターに乗せていただいたり楽しい交流ができました。

竹岡あがれに参加した保護者の方が「子どもの興味が参加に大きく影響した。」と言われました。興味があるからやりたいし楽しい、楽しんでいるうちに結果としていろんなことを体得する———これからも、子どもを中心に据えてしっかりと子どもと向き合った活動をすすめていきます。

(3) 会員の輪を広げましょう。

入会は1名でした。また、賛助会員は15（企業、個人合わせて）、16口の方々からご支援をいただきました。様々な活動の中で、地域や学校などのつながりは広がっていますが、それが、会員増加にはなってはいません。また、効果的な方法もなかなか見出せないまま会員数は減少し、会員の内訳では幼児から高校生の割合は会員数全体の1/3となりました。そんな中、嬉しいのは大学生や若い世代の会員の存在です。とても仲がよくて地元に残っている子も多く、みんな高学年活動のリーダーとしてリーダーシップを発揮し、人と人がつながる大切さを知っている子どもたちです。この若い世代の青年たちのパワーで新しい視点での取り組みを話し合っていけたらと思います。

(4) これからの会について考えていきましょう。

NPO法人を取得して11年になりました。ここ数年は、「これからの会のありかた」は年度のテーマにあげて理事会で話し合いをすすめてきました。

特にこの1年間は、①会の必要性について②今後の方向性について、の2点を議論してきました。

①の会の必要性については、「子どもに夢を、たくましく豊かな創造性を！」という願いのもと、1977年9月に設立した前身の萩おやこ劇場の時代からずっと、子どもを中心に据えた、子どもと大人のパートナーシップを大切に活動してきました。その結果、自分の意見を持ち、互いの違いを認め合い、生かし合える、自分だけじゃなくて社会に目を向けて行動できる子どもが大勢育っています。そして、関わる大人の私たちは「完璧な親などいない。誰かの助けを必要としていいんだ。」と助け合いや支え合いのすばらしさを身をもって感じています。今の時代だからこそ、子どもが育つには、家庭・学校・そして地域が大切。萩子どもセンターは、地域の中で子どもたちの輝きを見守り続ける存在でありたいと考えました。

②の今後の方向性については、Ⅰ、現状のままで継続していくか、Ⅱ、あらたな方向性を模索していくかで意見を出し合い、今後の展望を考えたとき、Ⅱのあらたな方向性の模索について考えていこうとなりました。その1つの方向性として、萩市に平成22年度にできる児童館やプレーパークに関わっていけないか、理事、正会員、参加会員、または会員以外の方にも加わっていただき「萩子どもセンターの未来を考える会」を立ち上げ具体的な取り組みをすすめてきました。児童館の視察や勉強会、プレーパークに関しては、市民の方に周知したいと思って、10月のわんぱく広場のときに「体験プレーパーク」として砂山あそびを提供、また天野秀昭さんの講演会を行いました。

会員みなさんには、この1年間、話し合いをすすめてきたことをご報告させていただき、今後の会のあり方については平成22年度の方針の中で提案させていただき、しっかり論議していきたいと考えています。

2. 事業の実施に係る事項

(1) 特定非営利活動にかかる事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施予定日 | 実施予定場所 | 受益対象者の範囲及び予定人数 |
|-------------|---|-------------------------|-------------------|----------------|
| 舞台鑑賞事業 | <p>舞台鑑賞 劇団風の子九州「どんぶらこっこだんどこ亭」 アジアのいろんな民話を使って短いお芝居があり、伝統的な遊びあり、音楽ありと盛りだくさんの内容でした。舞台の道具にもいろいろと工夫が凝らしてあり、ひょうたんで作ったお面はとて面白いものでした。また、公演中に使われていた中国の風車「フィフィ」を作るワークショップもあり、子どもたちは楽しそうに舞台を鑑賞し、風車を作っていました。</p> <p>舞台鑑賞部長 有田真美子 参加者が少ないのが残念です。会員数の減少により、例会回数確保が難しくなりました。1回1回の舞台鑑賞会を大切に声を掛け合って会員さんの参加につながればよいと思います。</p> | 1月23日 (土) 19:00~ | ジョイ201 イベントホール | 53人 |
| 子どもの諸活動支援事業 | <p>高学年活動</p> <p>● サマーキャンプ 小学生から高校生が参加して2日間のキャンプを楽しみました。企画・運営は高校生を中心に、初めて参加した小学校6年生の男の子たちも自然と打ち解けていました。川遊びや魚釣り、食事の準備も自分たちで、火を熾して飯盒炊爨でご飯も炊きました。夕食のバーベキューの時は参加者の保護者の方も加わって子どもたちの様子を温かく見守っている様子が印象的でした。夕食後は肝試しや花火、特に高校生3年生たちは、最後のキャンプになるので、夜通し話が尽きないようでした。</p> <p>長く続いているキャンプは以前に比べて参加人数は減っています。会の世代別の構成を見ても対象となる高学年（小学校4年生から高校3年生）の子ども達自体が減っているのが実態です。キャンプは異世代交流や自然体験の視点からこれからも続けていきたいので、取り組み方を工夫していくことが課題です。</p> | 8月24日 (土)~ 25日(日) | 川上阿武温泉 | 12人 |



| | | | | |
|--|--|--|--|-----------|
| | <p>● 第31回県中高生交流会in宇部 子ども劇場山口県センター主催事業 萩からは6人の子どもたちが参加しました。そのうち1人は実行委員を務め企画・運営に携わりました。2日間をめいっぱい楽しみ、地域や学年という枠を取り払って、しっかりと交流を深めることができました。会員の減少により、高学年活動が地元で難しくなっている今、こういう活動があることは大変ありがたいと思います。その交流会は高校を卒業しても続いていたり、夏に仲間で会ったり続いています。人間関係が希薄になり、若い世代のコミュニケーション力が乏しいと言われていますが、参加した子どもたちは人と関わることの楽しさを肌で実感できています</p> <p><u>実行委員をやってみて</u> 吉村美菜</p> <p>今回、初実行委員をやらせていただきました。交流会の準備は想像していたよりも穏やかでしたが、用意する事が多くて皆で苦戦しました。</p> <p>実行委員長のムーやんをはじめ、創、優次、おばあ、皆とても明るく接してくれたので、すぐ馴染むことができました。</p> <p>交流会の当日、他の地域からの参加者の方々に名札を渡しながら、楽しみに笑っている顔を見てとても嬉しかったです。スポーツ大会『おのピック』などでは、ハプニングがちょくちょくありましたが、臨機応変でなんとか対処して特に大きいこともなく楽しむことができました。</p> <p>ナイトTimeの時間になると、皆テンションが最高潮に達していて、語ったり、ウィンクキラ一等のゲームをしたりとそれぞれ楽しんでいました。</p> <p>2日目のダンスでは、皆が一つになって無我夢中で踊り、叫び、胴上げしたり、この交流会で一番盛り上がったと思います。</p> <p>実行委員をやって、多くの友だちができた、今までにない大きな物を学んだり・・・参加してよかったと思います。</p> <p>来年は最後の参加なので、今年以上に盛り上がりたいと思います。</p> | <p>3月29日 (月)～ 30日(火)</p> | <p>アクトビ レッジ小 野</p> | <p>7人</p> |
|--|--|--|--|-----------|

● 竹嵐あがれ！～竹と友だちになろう～

愛山青少年活動推進財団助成事業

山口福祉文化大学の協賛をいただき取り組みました。参加者は予定より少なく、第3回目の講座はインフルエンザの影響もあり残念でした。竹を切るところから嵐を完成するまでの一つひとつはとても手間と時間がかかる作業でしたが、その分、感動が何倍にもなり、紙を大切にしたいと子ども達が実感できました。萩の地域資源の竹を知り、自然との共生が肌で学ぶことができた有意義な取り組みでした。講師の石川先生から、「萩の自然を楽しむ、萩の自然をうまくいかした活動でしたね。」と感想をいただきました。

参加者の感想 小学1年生 女の子

竹の紙がどういうふうに行っているのかわかりました。紙を大切に使用したいと思います。

参加者の保護者の感想

アットホームな感じでとても感謝しています。竹を材料としてほとんどができたことや、絵の具の色の変化やいろいろな工程も、すごく勉強になったようです。一つひとつがいい体験です。何でも「体験」っていいなと思います。やっぱり子どもの興味が参加に大きく影響するようで、今回は参加させることができとても感謝しています。ありがとうございました。

● ストリートダンス

山口県民活動きらめき財団助成事業

きらめき財団のジャンプアップ助成3年目になります。男子が卒業して今年度は中学生から高校生の女子ばかりで活動しました。夏まつりでは、ストリートダンス15年周年の節目の年をOB、OGや指導して下さるレイコ先生のスタジオの子どもたちも参加して大いに盛り上がりました。さらに、OBの吉見くんが指導者としてダンスの基本を教えてくださいました。

7月 田町商店街土曜夜市

8月 夏まつり

11月 萩ふるさとまつり

12月 田町商店街クリスマスイベント

協力スタッフ 加藤可奈子

子どもたちが自主的に練習をして、各学年よくまとまっています。全体的なリーダーがいれば練習の効果が上がると思います。

6月21日
(日)
8月24日
(日)
11月28(土)
～29(日)

山口福祉
文化大学

延べ52人



週2回
水・木

田町商店街
JOY201

52回
延べ 416人

子どもの諸活動支援部長 加藤善隆

去年までは高校生が中心で行われていましたが、今は中学生が主体となって練習をしています。多くの高校生が卒業して少しさびしくなりましたが、これからは今まで以上に中学生に頑張ってもらって活気のあるストリートダンスになればと思います。教育、人間啓成、育成の場であるストリートダンス。子どもたちも感謝の気持ちを忘れずやってほしいし、私も見守っていければと思います。

参加者の感想 中学2年 女子

ストリートダンスは楽しいです。自由だし自分たちで踊りの振り付けは考えてもいいので友達みんなで楽しめます。私たちは話をするのが多くて、あまりダンスをしないときもあるのでもっとまじめに練習したいと思います。まだまだ下手だけど、これからもがんばって練習して上手になりたいです。

参加者の感想 中学2年 女子

私はまだまだ下手くそだけど、優しく教えてくれるのでみんなで楽しく練習できます。まつりなどのイベントにも参加して、とにかくみんなで楽しく踊ることがストリートダンスの魅力です。



● 田町まるごとYOU・友・遊 こどもまつり
～秋の巻～

今年はお天気は良かったのですが、インフルエンザの影響で少し子どもたちの姿が少なかったのが残念でした。しかし、遊びの内容は充実していて、どこの場所でも子どもたちがじっくりと取り組んで遊んでいる様子が見られました。特に、竹コーナーの竹箸作りや竹炭の飾り作りでは、子どもに交じって一生懸命作るお父さんお母さんの姿も見られました。明倫小学校の音楽クラブの演奏でこどもまつりは始まり、新しい試みだった萩東中学校の人形劇を行った芝居小屋も、毎回たくさん子どもたちで賑わっていました。高校生ボランティアも、昨年から参加している生徒もいてとても積極的に子どもたちと接してくれていました。また、萩東中学校の体験活動部の生徒も、自分たちの人形劇の出番のない時はいろいろなところでお手伝いをしていました。たくさんの方のご協力をいただいたのこどもまつりの開催でしたが、とても有意義な一日が過ごせました。

協力いただいた団体

萩市東田町商店街振興組合連合会・NPO法人萩まちじゅう博物館・民話語り部班・明倫小学校音楽クラブ・萩東中学校体験活動部・こもれび

指導者 竹とんぼ 秋山さん
こま回し 西岡さん
竹はし 吉村さん

高校生ボランティア 光塩4人・萩商工 6人
一般スタッフ 12人

協力いただいた団体・指導者からの感想

【MPO萩まちじゅう博物館 民話語り部班】

子どもたちの真剣に観たり、聴いたりしている姿を見ていると、こちらまで楽しく心温かくなりました。

【こもれび】

少子化といわれる中で、3人の子どもさんを連れのお母さんに何組か会い、とても頼もしく思いました。細かい作業も、男の子も女の子も一生懸命やっていました。中には、3才6ヶ月の女の子が、竹炭ビーズを細い針金に通して作品を作りました。とても感心しました。

【こま回し 西岡さん】


子どもは大体まんべんなく来てくれました。親子連れで参加しても若いおやごさんは回せない人が多かった。その点、おじいちゃんやおばあちゃんがお孫さんを連れて来られて、楽しそうに回しておられた人が何人かいました。ずっと練習して回せるようになった中学生には、おまけで認定証をあげました。1人のおじさんが「チュンガケ」で回せるように大きなこまを持ってこられていました。地面だったら私もいろんな芸を見せてあげることができたので残念でした。

11月8日
(日)

田町商店街

不特定多数



| | | | | |
|-------------------------|---|--|-----------------------------------|------------------------------|
| <p>子育て支援事業</p> | <p>ピヨピヨの会 子育て支援部長 伊藤京子 毎回、あまり無理せず楽しい内容を！と計画し、3人のスタッフと運営委員の助けを受けながらの一年でした。子どもと集う時間は楽しく！を目標にやってきました。 今年度は例年の企画のなかに、外遊びでネイチャーゲーム、砂遊びを取り入れました。 また、勉強会として、絵・福祉大学の石川先生 歯・歯科衛生士中本さんと専門のお話を聞きました。おやつ作りでは、スタッフの簡単アイデアメニューを実習。年度末のお楽しみ会は“ピヨピヨランド”として遊園地気分を出してみました。 参加者の減少が進んでいます。少子化などの社会現象か？会の魅力の問題か？しかし、他団体の実態も同じような様子です。年間を通してみると、コンスタントに参加される親子が多く、定期の遊び場の役目となっています。秋の新型インフルエンザの流行時には、心配しつつ実施してみると、「行くところがあった」と喜んでもらいました。これからも、子どもの遊びの場・お母さん達のおしゃべりの場というポイントを大切に、会を進めていきたいと思ひます。</p>  | <p>毎月第1.3 木曜日 10:00～ 11:30 20回</p> | <p>萩市総合福祉センター ほか</p> | <p>延べ185 世帯</p> |
| <p>子どもと文化に関する活動支援事業</p> | <p>おはなしやまんば（お話の会） 伊藤京子 今年度は、4人のメンバーで月1回の勉強会をしてきました。 一人増えると、違う点から感想が出るなど、幅広い意見交換ができた一年になりました。ストーリーテリングはもちろんのこと、絵本の紹介や読み聞かせの実践での体験談など、“おはなし”にまつわる話で充実した時間をもてました。子どもの心の畑に花を咲かせられるよう、たくさんのおはなしを勉強していきたいものです。</p> | <p>毎月 第3月曜日 9:30 ～12:00 7回</p> | <p>萩市中央公民館</p> | <p>4人</p> |

講演会

- 自分の責任で自由に遊ぶ
～プレーパークって何？～

講師：天野秀昭氏

演題：「遊び場づくりは地域づくり」

平成23年中央公園に誕生するプレーパークについて、市民の方に理解していただくことを目的に天野秀昭さんをお迎えして講演会を行いました。また、萩市小・中学校PTA連合会の共催をいただいて幅広い方に声をかけていきました。

企画・運営は子どもセンターの未来を考える会を中心にすすめて、講演日の前日は、中央公園の視察や萩市行政関係者との囲む会、懇親会、講演日の当日の午前中は椿東小学校の裏山を視察したあと、PTAの方との懇談、午後から講演会と、天野さんが滞在される貴重な2日間をフルに活用しました。

講演会は、プロジェクターを使ってプレーパークで遊ぶ様子を見ながら天野さんがお話をされた後、意見交流をしました。意見が次々と活発に出され、参加者のほとんどの方がプレーパークに興味をもったと感想をいただき、理解を深めていただくことにつながりました。

参加者の感想より

40代 女性

火を使った遊びができること、さまざまな壊す活動？ができること、子どもが魂を開放できる場所になれば理想ですね。

60代 女性

遊びの重要性をあらためて認識しました。自分の子育ては管理中心であったと反省しています。罪滅ぼしに、せめて孫は温かい目で見守ろうと思いました。萩のプレーパーク楽しみです。

20代 男性

プレーパークは子どもが楽しめる場所、人と交流できる場所だと思いました。こうした場がもっと増えて、自分もこの活動に関わってみたいと思いました。

50代 女性

昔の子どものように自由に遊べる場所と共感してくれる大人がいるというプレーパークは素晴らしいと思います。社会（萩の市民）の許容心が求められると思いました。

12月5日
(土)

市民活動セ
ンター結

58人



●**会員交流会**

「お米の収穫体験&食の大切さを学ぼう」

明木の見定(けんじょう)・下切(したきり)集落の方のご協力をいただき、昔ながらのはげかけのお米の収穫体験をしながら、食の大切さを学び、田舎の魅力を楽しむことを目的に行いました。あいにく当日は雨で収穫体験はできませんでしたが、トラクターに乗せてもらったり、集落のみなさんと交流を深めることができました。また、収穫してはげ掛けしたお米をいただきました。

参加者の感想 男の子

トラクターに乗せてもらったのが楽しかった。

参加者の感想

稲刈りができなくて残念でしたが、その代わりに野菜を切ったり、おにぎりを作ったり、作業ができたのが良かったです。



●**子どもと文化に関する活動の紹介、広報活動**

おやこニュースを発行して、会の活動状況を協力会員や賛助会員に伝えました。

広報部長 有田真美子

紙面に会員の協力で絵本の紹介やおやつレシピ、年度の途中からは「シリーズ」「遊びの力」を載せました。会員と子どもセンターとの距離をより近づけていける内容にしてきました。定期的に出せなかったことが反省点です

9月12日
(土)

明木
下切・見
定集落

14人

おやこニ
ュース発行

年5回

| | | | | |
|---------------------|--|---|--|--|
| <p>子どもの権利条約推進事業</p> | <p>十分な啓発活動の取り組みはできませんでした。情報を収集し、分かりやすい情報発信・啓発をしていきます。</p> | | | |
| <p>その他</p> | <p>他団体との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> 田町こい・鯉まつり協力 田町土曜夜市協力 砂の芸術祭 実行委員 萩夏まつり 実行委員 田町七夕まつり協力 わんぱくひろば 実行委員 ふるさとまつり協力 田町クリスマスイベント協力 海援隊コンサート公演 実行委員 SHOWINミュージカル公演 実行委員 <p>事務所がある田町商店街のイベントや市の行事などにストリートダンスやスタッフ協力、または実行委員として積極的に参加しました。</p> <p>中でも、10月のわんぱくひろばは、会主催の秋のこどもまつりと時期が重なっていたので参加をここ数年見合わせていましたが、「体験プレーパーク」の内容で久しぶりに参加しました。用意した砂山を小学校高学年の男の子が何回も転がって楽しそうに遊んでいるのが印象的でした。</p> <p>それから、SHOWINミュージカルは出演者やスタッフの中に会員の方もたくさん参加されていたので、公演の成功は私たちにとっても大変嬉しいものでした。</p> <p>これからも、さまざまな他団体の皆さんと一緒に地域の文化向上のために力をあわせていきたいと思えます。</p> | <p>5月 7月 7月 8月 8月 10月 11月 12月 1月 2月</p> | | |